

## 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませんので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	MSI 関連子宮内膜癌の臨床病理学的検討		
② 研究期間	実施許可日から 2022 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で子宮内膜癌のために子宮摘出術を受けられた患者様		
④ 対象期間	2014 年 4 月 1 日 から 2020 年 7 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学病理診断学講座		
⑥ 研究責任者	氏名	内山 智子	所属 病理診断学講座
⑦ 使用する試料・情報等	診断に使用したホルマリン固定パラフィン包埋組織（FFPE）, 診療情報（年齢、病期、卵巣癌との重複の有無）		
⑧ 研究の概要	<p>子宮内膜癌は現在、婦人科がんの中で最も発生頻度が高く、若年発症例も増加しています。本研究は、子宮内膜癌の原因の1つとして報告されているマイクロサテライト不安定性（MSI）についてその臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的としています。</p> <p>今回の研究では、手術にて摘出された組織から病理診断のために作製されたホルマリン固定パラフィン包埋組織（FFPE）を用いて、免疫染色を行い、MSI関連が疑われる症例について、病理組織像を中心に検討します。MSI関連の子宮内膜癌について特徴的な病理組織像を明らかにすることが出来れば、より正確な予後予測につながる可能性、治療可能な因子を探索できる可能性があります。</p> <p>研究への参加協力にご同意いただいた場合、病理診断に使用したFFPEからTMA（tissue microarray）を作製し、免疫染色を行います。その結果からMSI関連子宮内膜癌が疑わしいと考えられた患者さんと、MSI関連ではないと考えられた患者さんの病理組織像、様々なデータを比較することによってMSI関連子宮内膜癌に特徴的な病理組織像について解析します。使用するFFPE検体は診断時に用いた試料であり、ご参加いただきました患者様に新たに侵襲が加わることはなく、不利益はございません。</p>		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020 年 10 月 13 日	
⑩ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及		

閲覧等	<p>知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。          詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。</p>		
⑪ 結果の公表	<p>学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。</p>		
⑫ 個人情報の取扱い	<p>カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。          研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。</p>		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 病理診断学講座 内山 智子		
	電話	0744-29-8910	FAX
	Mail	uchiyama0403@naramed-u.ac.jp	